

入会の勧め③（曾祖父から三代にわたる会員）

日本倶楽部は今から120年以上前、明治30年（1898年）に発足した老舗の社交倶楽部です。あまりに大昔のことなので見当がつきにくいかもしれませんが、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の舞台である日清戦争と日露戦争の間に日本倶楽部は生まれました。

当時の会員は主要閣僚級の国会議員や政府・軍の高官、また著名財界人や華族など日本を代表するようなVIPが多く、そうした傾向は長く続きましたが戦後は軍や華族の制度が廃止になり、現在では当倶楽部の活動の趣旨に賛同する方々の入会を広く歓迎しています。

具体的には入会のお申し込みにあたり性別や職業による制約は存在せず、会員2名の紹介をもとに理事会で審査が行われます。

女性会員の存在も日本倶楽部の特徴です。理事会や委員会で活躍中の方やゴルフ会でプレーをエンジョイしている若手の例、或いは毎年の美術展で常連として力作を出品する方など、日本倶楽部における女性会員の活動の姿は実に多彩です。近年は家族会員制度の導入により、ご夫婦で倶楽部にお越しの例も見られるようになりました。

私自身は、約10年が経とうとしているところです。当時はまだ40代半ばであり、無名の小さな会社の一社員に過ぎませんでしたが、入会に関し事務局に相談したところ、会員や事務局にも実に親切に対応していただいています。

以上、ご入会にあたって何かのご参考になれば嬉しく存じます。

ご入会後に日本倶楽部でお目にかかれますことを楽しみにしております。